

宗像地区事務組合

水道資材仕様書

平成 30 年度版

令和 7 年度版

宗像地区事務組合

2018/04/01

2025/04/01

水道資材仕様書

目次

| | |
|---------------|---|
| P 2 | 目次 |
| P 3 | G X 形直管用 ダクタイル鋳鉄管 移動防止金具 |
| P 4 | T 形 ダクタイル鋳鉄管 離脱防止金具 |
| P 5 | K 形 ダクタイル鋳鉄管 離脱防止押輪 |
| P 6 | ダクタイル鋳鉄フランジ用固定金具（耐震補強） |
| P 7 | 硬質ポリ塩化ビニル管用ダクタイル鋳鉄異形管 |
| P 8 | 水道配水用ポリエチレン管用ダクタイル鋳鉄異形管 |
| P 9 | 硬質ポリ塩化ビニル管ゴム輪用離脱防止金具 |
| P 1 0 | メタルシート仕切弁 |
| P 1 3 | メタルシートバタフライ仕切弁 |
| P 1 4 | メタルシート仕切弁付割 T 字管（鋳鉄管・塩ビ管・鋼管用） |
| P 1 6 | 急速空気弁 $\phi 25 \cdot \phi 75 \cdot \phi 100$ （JWWA B 137） |
| P 1 7 | 消火栓 |
| P 1 8 | 補修弁 |
| P 1 9 | 止水栓 |
| P 2 0 | 伸縮止水栓 |
| P 2 1 | ポリエチレン管用金属継手 |
| P 2 2 | サドル分水栓 |
| P 2 3 | 仕切弁室鉄蓋 有効内径 $\phi 250$ |
| P 2 4 | 消火栓/空気弁/排泥弁/バタフライ弁鉄蓋 |
| P 2 5 | 仕切弁/消火栓/空気弁/排泥弁/バタフライ弁室下柵 |
| P 2 6 | 止水栓鉄蓋/排泥管鉄蓋 |
| P 2 7 | 仕切弁底版・消火栓空気弁底版・調整ブロック・止水栓底版 |
| P 2 8 | 埋戻用砂 |
| P 2 9 | バルブロット（継足しロット） |

水道資材仕様書

品名：G×形直管用 ダクティル鑄鉄管 移動防止金具

「材質及び構造」

- ① 離脱防止押輪本体材質：FCD450-10
- ② 離脱爪材質及び構造：FCD450-10 弓形爪形状
- ③ 押ボルト材質：SUS304（φ300以上に使用）
- ④ T頭ボルト・ナット：SUS304 焼付防止とする。
- ⑤ 埋設用塗装：JWWA G 121 水道用G×形ダクティル異形管による、耐食触亜鉛系塗装とする。

性能

- ① 保持水圧

| 口径 | 真直接合時 | 曲げ接合時(4°) |
|------|--------|-----------|
| φ75 | 5.0Mpa | 2.5Mpa |
| φ100 | 5.0Mpa | 2.5Mpa |
| φ150 | 3.0Mpa | 2.5Mpa |
| φ200 | 3.0Mpa | 2.5Mpa |
| φ250 | 2.8Mpa | 2.5Mpa |
| φ300 | 2.4Mpa | 2.0Mpa |
| φ400 | 2.4Mpa | 2.0Mpa |

※上記の保持水圧以上の製品を使用すること

※φ500以上の口径の水圧保持性能については、別途協議を行うこと

水道資材仕様書

品名：T形 ダクタイル鋳鉄管 離脱防止金具

「材質・構造・性能」

- ① 離脱防止押輪本体材質：FCD450-10
- ② 離脱爪材質及び構造：FCD450-10 弓形爪形状（全周型）
- ③ T頭ボルト・ナット：複合ボルト・ナットタイプとする。
- ④ 埋設用塗装：JWWA K 139 一液性エポキシ樹脂塗装とする。

性能

① 許容水圧

| 口 径 | 許 容 水 圧 |
|---------|-----------|
| φ 7 5 | 4 . 0 Mpa |
| φ 1 0 0 | 4 . 0 Mpa |
| φ 1 5 0 | 3 . 0 Mpa |
| φ 2 0 0 | 2 . 5 Mpa |
| φ 2 5 0 | 2 . 2 Mpa |

* 上記の許容水圧以上の製品を使用すること。

② 離脱阻止力

（財）国土開発技術研究センター「地下埋設管路耐震継手の技術基準」案

* 離脱防止判定区分 C級以上（0.75DkN 以上～0.15DkN 未満の離脱阻止力）を満たす製品を使用すること。

水道資材仕様書

品名：K形 ダクタイル鋳鉄管 離脱防止押輪

「材質及び構造」

- ① 離脱防止押輪本体材質：FCD450-10
- ② 離脱爪材質及び構造：FCD450-10 弓形爪形状（全周型）
- ③ 押ボルト材質：FCD420-10
- ④ T頭ボルト・ナット：SUS403（強度区分：C3-80）焼付防止とする。
- ⑥ K形ゴム輪：SBR 製 ダブルヒレ付パッキンとする。
- ⑦ 埋設用塗装：JWWA K 139 一液性エポキシ樹脂塗装とする。

性能

- ① 許容水圧：下記の許容水圧以上の製品を使用すること

| 口径 | 許容水圧 | 口径 | 許容水圧 |
|---------|---------|---------|---------|
| φ 7 5 | 5. 0Mpa | φ 3 0 0 | 5. 0Mpa |
| φ 1 0 0 | 5. 0Mpa | φ 3 5 0 | 3. 7Mpa |
| φ 1 5 0 | 5. 0Mpa | φ 4 0 0 | 3. 3Mpa |
| φ 2 0 0 | 5. 0Mpa | φ 4 5 0 | 3. 0Mpa |
| φ 2 5 0 | 5. 0Mpa | φ 5 0 0 | 2. 6Mpa |
| | | φ 6 0 0 | 2. 3Mpa |

- ② 離脱阻止力

（財）国土開発技術研究センター「地下埋設管路耐震継手の技術基準」案

* 離脱防止判定区分 A級（3DKN 以上の離脱阻止力）を満たす製品を使用すること。

水道資材仕様書

品名：ダクタイル鋳鉄フランジ用固定金具（耐震補強）

「材質・構造・性能」

- ① 本体材質：FCD450-10
- ② スライドピース材質：FCD450-10
- ③ 構造：バーチカル方式スライド圧着形（フランジボルトに接触しない事）
- ④ 操作ボルト・ナット：SUS304、SCS13
- ⑤ 埋設用塗装：JWWA K 139 一液性エポキシ樹脂塗装とする。

性能

① 離脱阻止力

（財）国土開発技術研究センター「地下埋設管路耐震継手の技術基準」案

* 離脱防止判定区分 A 級（3DKN 以上の離脱阻止力）を満たす製品を使用すること。

② 使用個数

| | |
|---------|-----|
| φ 7 5 | 2 個 |
| φ 1 0 0 | 2 個 |
| φ 1 5 0 | 4 個 |
| φ 2 0 0 | 6 個 |

φ 7 5 ～ φ 2 0 0 は兼用とする。

水道資材仕様書

品名：硬質ポリ塩化ビニル管用ダクタイル鋳鉄異形管

「材質・構造・性能」

- ① 押輪と離脱防止金具が独立した構造とする。
- ② 異形管異形管本体は FCD 420-10 以上とする (JWWA G 114)
- ③ 離脱防止金具は FCD 600-3 以上とする。(JWWA G 114)
- ④ 内面塗装の最低塗膜厚は 0.3mm 以上とする。(JWWA G 112)
- ⑤ 外面塗装はカーボンエポキシ樹脂粉体塗装とし、最低塗膜厚 0.08mm 以上とする。
- ⑥ ゴム輪 は SBR とする。(JWWA G 114 付属書 1 接合部品Ⅲ類 1A・70)
- ⑦ 防食ボルトは粉体ボルト (FCD420-10) 仕様とする。
- ⑧ 防食ナットは粉体袋ナット (FCD420-10) 仕様とする。
- ⑨ 幅広離脱防止金具の金具つかみ幅は以下の通りとする。

| 口径 | 金具のつかみ幅 (最小) |
|-------|--------------|
| 50mm | 30mm 以上 |
| 75mm | 40mm 以上 |
| 100mm | 50mm 以上 |
| 150mm | 60mm 以上 |

- ⑩ 伸縮可とう性 (一受口) は伸縮量 10mm 以上、可とう角 $\pm 4^{\circ}$ とする。

水道資材仕様書

品名：水道配水用ポリエチレン管用ダクタイル鋳鉄異形管

「材質・構造・性能」

- ① 押輪と離脱防止金具が独立した構造とする。
- ② インコア不要タイプ仕様とする。
- ③ 離脱防止金具は外部離脱防止金具開放ナット付仕様とする。
- ④ 異形管異形管本体はFCD 420-10 以上とする（JWWA G 114）
- ⑤ 離脱防止金具はFCD 600-3 以上とする。（JWWA G 114）
- ⑥ 内面塗装の最低塗膜厚は0.3mm 以上とする。（JWWA G 112）
- ⑦ 外面塗装はカーボンエポキシ樹脂粉体塗装とし、最低塗膜厚0.08mm 以上とする。
- ⑧ ゴム輪 はSBR とする。（JWWA G 114 付属書1 接合部品Ⅲ類 1A・70）
- ⑨ 防食ボルトは粉体ボルト（FCD420-10）仕様とする。
- ⑩ 防食ナットは粉体袋ナット（FCD420-10）仕様とする。

水道資材仕様書

品名：硬質ポリ塩化ビニル管ゴム輪用離脱防止金具

「材質・構造・性能」

- ① 離脱防止金具本体の材質は FCD 420-10 以上とする。(JWWA G 114)
- ② ボルトの材質は口径 40・50mm の製品については SUS304（焼付け防止処理）とし、口径 75～150mm の製品については粉体ボルト(FCD420-10)仕様とする。
- ③ ナットの材質は口径 40・50mm の製品については SUS34（焼付き防止コート・小形丸平ワッシャー付）とし、口径 75～150mm の製品については粉体袋ナット(FCD420-10)仕様とする。
- ④ 外面塗装はカーボンエポキシ樹脂粉体塗装とし、最低塗膜厚は 0.08mm 以上とする。(黒色)
- ⑤ 本体形式は分解不要型とし、口径 40・50mm の製品については 2 ツ割方式仕様とし、口径 75～150mm の製品についてはヒンジ構造仕様とする。
- ⑥ 伸縮可とう性（一受口）は伸縮量 10mm 以上、可とう角 $\pm 4^{\circ}$ とする。

水道資材仕様書

品名：メタルシート仕切弁

- (1) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 50 \sim \phi 100$ (JWWA B 122 準拠)
- (2) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 150 \sim \phi 300$ (JWWA B 122 準拠)
- (3) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 350 \sim \phi 500$ (JWWA B 122 準拠)
- (4) メカニカルK形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 75 \cdot \phi 100$ (JWWA B 122 準拠)
- (5) メカニカルK形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 150 \sim \phi 300$ (JWWA B 122 準拠)

「材質・構造・性能」

- (1) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 50 \sim \phi 100$ (JWWA B 122 準拠)
 - ① 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 50=280 \sim 290H$ $\phi 75=330 \sim 340H$ $\phi 100=390 \sim 400H$ を超えない範囲とする。
 - ② 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
 - ③ 弁箱一ふたの締結用六角ボルトは SUS304 (A2 - 70) 製を使用する。
 - ④ 弁箱一ふたの連結は GF 形とする。
 - ⑤ 弁箱一ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
 - ⑥ 弁体は CAC406 製または CAC911 製とし弁体弁座一体型とする。
 - ⑦ 必要に応じて現場で開度計を付けられる構造とする。(不断水で取り付けができ、全高寸法がかわらないこと)
 - ⑧ パッキン箱は 4 本以上のボルトで締め付けるものとする。
 - ⑨ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。
- (2) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 150 \sim \phi 300$ (JWWA B 122 準拠)
 - ① 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 150=H460 \sim H490$ $\phi 200=H540 \sim H560$
 $\phi 250=H670 \sim 690$ $\phi 300=H760 \sim H780$
 - ② 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
 - ③ 弁棒ツバ上下にボールベアリング (上下 2ヶ) を設ける構造とする。
 - ④ 弁箱一ふたの締結用六角ボルトは SUS304 (A2 - 70) 製を使用する。
 - ⑤ 弁箱 - ふたの連結は GF 形とする。
 - ⑥ 弁箱一ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
 - ⑦ 必要に応じて現場で開度計を付けられる構造とする。(不断水で取り付けができ、全高寸法がかわらないこと)
 - ⑧ パッキン箱は 4 本以上のボルトで締め付けるものとする。
 - ⑨ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。

水道資材仕様書

(3) フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 350 \sim \phi 500$ (JWWA B 122 準拠)

- ① 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 350=H990 \sim H1010$ $\phi 400=H1130 \sim H1150$ $\phi 450=H1230 \sim \phi 1250$ $\phi 500=H1330 \sim 1350$ の範囲とする。
- ② 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ③ 弁棒ツバ上下にボールベアリング(上下2ヶ)を設ける構造とする。
- ④ 弁箱一ふたの締結用六角ボルトは SUS304 (A2-70) 製を使用する。
- ⑤ 弁箱 - ふたの連結は RF 形とし、全面パッキンを設ける構造とする。
- ⑥ 弁箱一ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
- ⑦ 必要に応じて現場で開度計を付けられる構造とする。(不断水で取り付けができ、全高寸法がかわらないこと)
- ⑧ パッキン箱は 4 本以上のボルトで締め付けるものとする。
- ⑨ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。

(4) メカニカルK形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 (JWWA B 122 準拠) $\phi 75 \cdot \phi 100$ 両受け

- ① 口径 $\phi 75$ (有効長 150mm) $\phi 100$ (有効長 174mm)
- ② 弁本体部は JWWA B 122 規格品と同等の性能を有した上で、弁箱の配管接合部をメカニカル式(K形)としたものとする。
- ③ 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 75=330H$ $\phi 100=380H$ を超えない寸法とする。
- ④ 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ⑤ 弁箱一ふたの締結用六角ボルトは SUS304 (A2 - 70) 製を使用する。
- ⑥ 弁箱 - ふたの連結は GF 形とする。
- ⑦ 弁箱一ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
- ⑧ 弁体は CAC406 製または CAC911 製とし弁体弁座一体型とする。
- ⑨ 必要に応じて現場で開度計を付けられる構造とする。(不断水で取り付けができ、全高寸法がかわらないこと)
- ⑩ 離脱防止押輪付で JCPA G 1049-2013 による離脱防止性能試験と曲げ強度試験を合格したものとする。また上記試験の際に作動試験と弁座漏れ試験を行ったものとする。
- ⑪ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。

(5) メカニカルK形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 (JWWA B 122 準拠) $\phi 150 \sim \phi 300$ 両受け

- ① 口径 $\phi 150$ (有効長 206mm) $\phi 200$ (有効長 230mm) $\phi 250$ (有効長 250mm) $\phi 300$ (有効長 270mm)
- ② 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 150=H460 \sim H490$ $\phi 200=H540 \sim H560$

水道資材仕様書

φ250=H670～690 φ300=H760～H780

- ③ 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ④ 弁棒ツバ上下にボールベアリング（上下2ヶ）を設ける構造とする。
- ⑤ 弁箱－ふたの締結用六角ボルトは SUS304（A2－70）製を使用する。
- ⑥ 弁箱－ふたの連結は GF 形とする。
- ⑦ 弁箱－ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
- ⑧ 必要に応じて現場で開度計を付けられる構造とする。（不断水で取り付けができ、全高寸法がかわらないこと）
- ⑨ 離脱防止押輪付で JCPA G 1049-2013 による離脱防止性能試験と曲げ強度試験を合格したものとする。また上記試験の際に作動試験と弁座漏れ試験を行ったものとする。
- ⑩ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。

水道資材仕様書

品名：バタフライ仕切弁

- (1) メタルシートバタフライ弁（メカニカルK形）φ350～φ600 両受け
- (2) ゴムシート式フランジ形バタフライ弁

「材質・構造・性能」

(1) メタルシート式両受けバタフライ弁（メカニカルK形）φ350～φ600

- ① 口径 φ350（有効長 360mm）φ400（有効長 450mm）φ500（有効長 460mm）φ600（有効長 480mm）
- ② 全高寸法は、埋設時のキャップ深さ（GL からキャップ頂部）が 500mm 程度となるものとする。但し、全高寸法が 2000mm を超える場合は、別途協議とする。
- ③ 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ④ 構造は偏心軸形としたうえ、弁棒は弁座部の上流側とする。弁体の材質はステンレス製で弁座一体形とする。
- ⑤ 操作機はセンターキャップ式とし開度計を設けるものとする。またキャップ回転方向と回転する指針は同方向に動くものとする。
- ⑥ 回転数 φ350＝26 回転 φ400＝26 回転 φ500＝26 回転 φ600＝50 回転とする。
- ⑦ キャップにはスリップ装置を設けるものとする。
- ⑧ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。

(2) ゴムシート式フランジ形バタフライ弁

- ① 全高寸法は、埋設時のキャップ深さ（GL からキャップ頂部）が 500mm 程度となるものとする。但し、全高寸法が 2000mm を超える場合は、別途協議とする。
- ② 内面は弁箱弁体ゴムライニングを施すものとする。
- ③ 操作機はセンターキャップ式とし開度計を設けるものとする。またキャップ回転方向と回転する指針は同方向に動くものとする。
- ④ 回転数 φ350＝26 回転 φ400＝26 回転 φ500＝26 回転 φ600＝50 回転とする。
- ⑤ キャップにはスリップ装置を設けるものとする。
- ⑥ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする

水道資材仕様書

品名：メタルシート仕切弁付割Ｔ字管（鑄鉄管・塩ビ管・鋼管用）

対象規格：本管口径（鑄鉄管 $\phi 75 \sim \phi 500$ 、塩ビ管・鋼管 $\phi 75 \sim \phi 200$ ）×分岐口径（ $\phi 75 \sim \phi 150$ ）

（１）割Ｔ字管

（２）フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 75 \sim \phi 100$ （JWWA B 122 準拠）

（３）フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 150$ （JWWA B 122 準拠）

「材質・構造・性能」

（１）割Ｔ字管

- ① 本体及びカバー割Ｔ字管材質：FCD450-10
- ② 割Ｔ字管取付Ｔ頭ボルト・ナット材質：FCD420-10 又は FCD 合金製
- ③ Ｔ頭ボルト・ナットの防食対策：ネジ部に防食キャップ
- ④ 本管材質が鑄鉄管及び鋼管の場合は分岐口径 $\phi 50 \sim \phi 150$ について切断口の防食対策コアを挿入する。
- ⑤ 止水パッキン：SBR 製とする。
- ⑥ フランジボルト・ナット：SUS403（強度区分：C3-80）焼付防止とする。
- ⑦ 本体及びカバー：二つ割を使用する。
- ⑧ 本管口径 $\phi 250\text{mm}$ 以上：二つ割離脱防止押輪付とする。
- ⑨ 内面塗装：紛体塗装 JWWA G 112 塗膜（ 0.3mm 以上）とする。
- ⑩ 外面塗装：一液性エポキシ樹脂塗料 JWWA G 139 を使用する。
- ⑪ 浸出性：JWWA Z 108 により試験を行い、その値が厚生省令に定める基準値以下とする。
- ⑫ 耐震管への施工については、フランジ部に 3DKN 以上の離脱阻止力をもつ固定金具を設置すること。

（２）フランジ形ダクタイトイル鑄鉄仕切弁 $\phi 75 \sim \phi 100$ （JWWA B 122 準拠）

- ① 高さ（管芯～キャップ頭） $\phi 75=330\text{H}$ $\phi 100$ （JWWA B 122 準拠）
- ② 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ③ 弁箱一ふたの締結用六角ボルトは SUS304（A2 - 70）製を使用する。
- ④ 弁箱 - ふたの連結は GF 形とする。
- ⑤ 弁箱一ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
- ⑥ 弁体を収納する溝部底部より外部へ排出出来る機能を有することとする
- ⑦ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。
- ⑧ 耐震管への施工については、フランジ部に 3DKN 以上の離脱阻止力をもつ固定金具を設置すること。

水道資材仕様書

(3) フランジ形ダクタイル鋳鉄仕切弁 $\phi 150$ (JWWA B 122 準拠)

- ① 高さ(管芯～キャップ頭) $\phi 150=H460\sim H490$
- ② 内面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ③ 弁棒ツバ上下にボールベアリング(上下2ヶ)を設ける構造とする。
- ④ 弁箱－ふたの締結用六角ボルトは SUS304 (A2－70) 製を使用する。
- ⑤ 弁箱－ふたの連結は GF 形とする。
- ⑥ 弁箱－ふたの締結用六角ボルト・ナットは、所定の順序・トルクで締め、『合マーク』を明示する。
- ⑦ 弁体を収納する溝部底部より外部へ排出出来る機能を有することとする。
- ⑧ 宗像地区事務組合仕様弁室に合わせたステンレス製銘板付とする。
- ⑨ 耐震管への施工については、フランジ部に 3DKN 以上の離脱阻止力をもつ固定金具を設置すること。

水道資材仕様書

品名：急速空気弁 $\phi 25$ ・ $\phi 75$ ・ $\phi 100$ (JWWA B 137)

「材質・構造・性能」

- ① 内外面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ② ボルトは SUS304 製を使用すること。
- ③ 弁体はダブルフロート方式とし、補助フロートを設ける。
- ④ 極低圧 (0.01Mpa) においても、止水・排気機能を維持できるものとする。
- ⑤ 傾斜設置 (10 度) においても、止水・排気機能を維持できるものとする。

水道資材仕様書

品名：消火栓

- (1) 地下式消火栓 φ75 (JWWA B 103 準拠)
- (2) 地下式消火栓 φ100 双口消火栓 (JWWA B 103 準拠)
- (3) 急速空気弁付消火栓 φ75 (JWWA B 103 準拠+JWWA B 137)

「材質・構造・性能」

- (1) 地下式消火栓 φ75 (JWWA B 103 準拠)
- (2) 地下式消火栓 φ100 双口消火栓 (JWWA B 103 準拠)
 - ① 内外面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
 - ② ボルトは SUS304 製を使用すること。
 - ③ 弁棒上昇式とする。
 - ④ 口金・外し金・フランジ・チェーンは SUS304 または SCS13 とする。
 - ⑤ 口金蓋は FCD 製とし、粉体塗装を施したものとする。
 - ⑥ 弁体は吊り下げ方式とし、中間開度での使用時に、水流による『開動作』がおきないこと。また弁棒が弁体を貫通しない構造とする。
 - ⑦ フランジ～口金高さを $H=250\sim H=260$ 以下とする。
 - ⑧ 弁体は SCS13 製とし、SBR ゴムライニングを施す構造とする。
- (3) 急速空気弁付消火栓 φ75 (JWWA B 103 準拠+JWWA B 137)
 - ① 内外面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
 - ② ボルトは SUS304 製を使用すること。
 - ③ 弁棒上昇式とする。
 - ④ 口金・外し金・フランジ・チェーンは SUS304 または SCS13 とする。
 - ⑤ 口金蓋は FCD 製とし、粉体塗装を施したものとする。
 - ⑥ 弁体は吊り下げ方式とし、中間開度での使用時に、水流による『開動作』がおきないこと。また弁棒が弁体を貫通しない構造とする。
 - ⑦ 空気弁部は FCD 製で JWWA B 137 規格品とする。
 - ⑧ 空気弁部と消火栓部との接続はねじ込み方式とする。
 - ⑨ 弁体は SCS13 製とし、SBR ゴムライニングを施す構造とする。
 - ⑩ 空気弁部弁体はダブルフロート方式とし、補助フロートを設ける。
 - ⑪ 低圧 (0.01Mpa) においても、止水・排気機能を維持できるものとする。
 - ⑫ 傾斜設置 (10 度) においても、止水・排気機能を維持できるものとする。
 - ⑬ フランジ～口金高さを $H=250\sim H=260$ 以下とする。

水道資材仕様書

品名：補修弁

(1) ボール式補修弁 $\phi 75 \cdot \phi 100$ (JWWA B 126)

「材質・構造・性能」

(1) ボール式補修弁 $\phi 75 \cdot \phi 100$ (JWWA B 126)

- ① 内外面はエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ② ボルトは SUS304 製を使用すること。
- ③ ボール弁体式（キャップ操作式）とし、上部フランジ部分は、GF 形とする。
- ④ 弁座は NBR に PTFE ライニングを施したものとする。
- ⑤ ボール弁体は ABS 樹脂製とし、フッ素樹脂コーティングを施す構造とする。
- ⑥ ウォーム軸は C3771B (鍛造用黄銅) し、ウォームホイール軸を C6782B （高力黄銅) とする。
- ⑦ 口径芯からキャップのツバ外側までの寸法は 200 mm 以内とする。

水道資材仕様書

品名：止水栓

「材質・構造・性能」

- ① 社団法人日本水道協会品質認証センターの認証登録品とする。
- ② 耐圧性能：1.75MPaの水圧を加え、1分間保持し、異常が無いこと。
- ③ 浸出性能：JIS S 3200-7に規定される試験方法により水質基準に適合すること。
- ④ 止水性能：0.75MPaの水圧を加え、30秒間保持し、シートに漏れが無いこと。
- ⑤ 作動特性：手動によって開閉操作を行い、運動部分が円滑に作動すること。
- ⑥ 耐久性能：500回の開閉操作後、止水性能試験によりシートに漏れが無いこと。
- ⑦ 損失水頭：定格流量において0.15m以下にすること。(表1)

表 1 単位 L/min

| | | | |
|------|----|----|----|
| 呼び径 | 13 | 20 | 25 |
| 定格流量 | 16 | 38 | 60 |

- ⑧ 接水部分の材質は鉛レス青銅合金とし、止水栓本体の材質はJIS規格CAC911とする。
- ⑨ 止水構造はボール式とし、エポキシ樹脂系カチオン型EDボール弁体とする。
- ⑩ ボール弁体の材質は鉛レス青銅合金とする。
- ⑪ 操作構造はスピンドルが露出しないキャップハンドル式とし、形状は角形とする。

水道資材仕様書

品名：伸縮止水栓

「材質・構造・性能」

- ① 社団法人日本水道協会品質認証センターの認証登録品とする。
- ② 耐圧性能：JIS S 3200 に準じ、1.75MPa {17.8kgf/c m²} の水圧を加え、1 分間保持し、異常が無いこと。
- ③ 浸出性能：JIS S 3200 に準じ、浸出性能試験により水質基準に適合すること。
- ④ 逆流防止性能：JIS S 3200 に準じ、2次側より 0.003 及び 1.5MPa {0.03 及び 15.3kgf/c m²} の水圧を 1 分間加え、異常が無いこと。
- ⑤ 耐久性能：JIS S 3200 に準じ、10 万回の開閉操作を繰り返した後、耐圧・逆流防止性能に異常が無いこと。
- ⑥ 止水性能：0.75MPa {7.6kgf/c m²} の水圧を加え、30 秒間保持した時、シート漏れが無いこと。
- ⑦ ボールリフト式逆止弁が内蔵された伸縮式の止水栓とする。
- ⑧ 接水部分の材質は鉛レス青銅合金とし、伸縮止水栓本体の材質は JIS 規格 CAC911 とする。
- ⑨ 止水構造はボール式とし、エポキシ樹脂系カチオン型 ED ボール弁体とする。
- ⑩ 開閉ハンドルの材質は鉛レス青銅合金とする。

水道資材仕様書

品名：ポリエチレン管用金属継手

「材質・構造・性能」

- ① 社団法人日本水道協会品質認証センターの認証登録品とする。
- ② 銅の耐圧性能：銅の両端を封じ、内部に 2.5MPa の水圧を加え 2 分間保持し、漏れ、その他の異常が無いこと。
- ③ 銅の機密性能：銅の両端を封じ、内部に 0.6MPa の空気圧を加え 5 秒間保持し、漏れ、その他の異常が無いこと。
- ④ 引抜性能：継手に長さ 300mm 以上の管を接合し、常温において表 1 の軸荷重を加えそのまま 1 時間保持し、拔出しその他の異常が無いこと。

表 1

単位 KN

| 管種 | 13 | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 1 種 | 0.97 | 1.42 | 2.23 | 3.14 | 4.15 | 6.4 |

また、抜け出しその他の異常が無い様に表 2 の飲み込み代を用いるものとする。

表 2

単位 mm

| 管種 | 13 | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
|------|----|----|----|----|----|----|
| 飲み込み | 23 | 27 | 32 | 33 | 36 | 41 |

- ⑤ 水圧性能：継手に長さ 500mm 以上の管を接合し内部に 1.75MPa の水圧を加えそのまま 1 時間保持し、漏れ、その他の異常が無いこと。
- ⑥ 負圧性能：継手に長さ 500mm 以上の管を接合し、内部を-54kPa まで減圧して 2 分間保持し、空気の吸い込み、その他の異常が無いこと。
- ⑦ 浸出性能：JIS S 3200-7 に規定される試験方法より、水質基準に適合すること。
- ⑧ 接水部分の材質は鉛レス青銅合金とし、継手本体の材質は JIS 規格 CAC911 とする。
- ⑨ インコアが継手本体と一体型とする。
- ⑩ インコアの材質は 13 mm～25 mmは JIS 規格の SUS304 とする。
- ⑪ 抜け止め防止リングが継手本体と一体型とする。

水道資材仕様書

品名：サドル分水栓

「材質・構造・性能」

- ① 社団法人日本水道協会品質認証センターの認証登録品とする。
- ② 耐圧性能：JWWA B 117 に準じ、1.75MPa の水圧を加え、1 分間保持し、耐圧部に変形、破損、漏水、にじみその他の異常が無いこと。
- ③ 止水性能：JWWA B 117 に準じ、止水機構を閉じ 1 次側から 0.75MPa の水圧を加え 30 秒間保持し、シート漏れ、その他の異常が無いこと。
- ④ 作動特性：JWWA B 117 に準じ、0.75MPa の水圧を加えながら静かに止水機構を開閉し、開閉が円滑であること。
- ⑤ 浸出性能：JIS S 3200-7 に規定される試験方法により、水質基準を満たしていること。
- ⑥ 絶縁性能：絶縁耐圧試験器を用い、1000V の電圧にてボールケースとサドル本体の抵抗値を測定し、ボールケースとサドル本体は導通していないこと。
- ⑦ サドル付分水栓の構造は浅層埋設対応型フランジ式とする。
- ⑧ 接水部分の材質は鉛レス青銅合金とする。
- ⑨ ボルト、ナット部分の材質は JIS 規格の SUS304 とする。
- ⑩ サドル機構部の材質はダクタイル鋳鉄製とする。
- ⑪ 本体構造の異種金属接合部は絶縁すること。
- ⑫ 分岐する配水管の材質が鋳鉄製や鋼製の場合、サドル分水栓はワンサイズ上位口径とし、ステンレス製密着型コアを挿入すること。

※⑫は、令和 7 年 4 月から採用する。

水道資材仕様書

品名：仕切弁室鉄蓋 有効内径 φ250

「材質・構造・性能」

- ① 鉄蓋の性能、試験方法は、JWWA B 132 に準拠したものとする。
- ② 鉄蓋の構造及び形状は、「宗像地区事務組合設計マニュアル」（以下「設計マニュアル」とする。）のとおりとする。
- ③ 蓋表面には、視認性を向上させるためのカラー標示が出来る構造であること。カラー標示は、仕切弁はブルー、排泥弁/排泥管はブラウンとする。
- ④ 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、開閉器具用穴を自動的に閉塞出来る閉塞蓋を取付けた構造であること。
- ⑤ 蓋は、専用開閉器具の使用により軽く開放できる構造であること。
- ⑥ 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。
- ⑦ 受枠は、外周に取っ手を 2 箇所設けたボックス構造で、内周にはストッパーを 3 箇所設けること。
- ⑧ 受枠のフランジは、下柵の上部壁と、ボルトにて緊結できるよう、アンカー穴を設けた構造であること。ボルトは、JIS B 0205 に規定の M12 とする。

水道資材仕様書

品名：消火栓/空気弁/排泥弁/バタフライ弁鉄蓋

「材質・構造・性能」

- ① 鉄蓋の性能、試験方法、構造及び形状は、JWWA B 132（水道用円形鉄蓋）に準拠したものとする。
- ② 蓋表面には、視認性を向上させるためのカラー標示が出来る構造であること。消火栓鉄蓋の表面模様は「消防車」をデザインし、標示色は消防車をレッド、その他をイエローとする。空気弁/排泥弁/バタ弁の標示色はブルーとする。
- ③ 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、開閉器具用穴を自動的に閉塞出来る閉塞蓋を取付けた構造であること。
- ④ 蓋のリブは、放射状形状であること。
- ⑤ 蓋は、専用開閉器具の使用により軽く開放できる構造であること。
- ⑥ 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。
- ⑦ 受枠は、鉄蓋周辺の転圧不足による舗装品質の劣化を防止できるリブ無し構造とする。
- ⑧ 受枠のフランジは、下柵の上部壁と、ボルトにて緊結できる構造であること。ボルトは、JIS B 0205 及び JIS B 0209 に規定の M16 とする。
- ⑨ 調整駒は、受枠施工時の道路勾配に対する微調整、アンカーボルトの締付け過ぎによる受枠の変形防止機能を有し、施工性、操作性が簡単な構造であること。
- ⑩ 鉄蓋の施工は、調整部の耐久性を確保するため、高流動性、超早強性、無収縮を有する調整部材を用いて行うこと。
- ⑪ 鉄蓋の開放時の専用開閉器具による操作力は、操作力測定治具（測定バー）にて 50kgf（490N）以下とし、静荷重開放力試験及び落錘開放力試験を行うこととする。
- ⑫ 鉄蓋の揺動量は 1.0mm 以下とし、静荷重揺動試験及び落錘揺動試験を行うこととする。

水道資材仕様書

品名：仕切弁/消火栓/空気弁/排泥弁/バタフライ弁室下柵

「材質・構造・性能」

- ① 下柵の性能、試験方法は、JWWA K 148 に準拠したものとする。
- ② 下柵の構造及び形状は、「設計マニュアル」のとおりとする。

水道資材仕様書

品名：止水栓鉄蓋/排泥管鉄蓋

「材質・構造・性能」

A. 上部枠高さ 100mm

- ① 止水栓筐の性能、試験方法は、JWWA K 147 に準拠したものとする。
- ② 筐の構造及び形状は、添付図面の通りとする。
- ③ 蓋表面には、視認性を向上させるためのカラー標示が出来る構造であること。カラー標示は、止水栓はブルー、排泥管はブラウンとする。

B. 上部枠高さ 150mm

- ① 筐の構造及び形状は、「設計マニュアル」のとおりとする。
- ② 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、開閉器具用穴を自動的に閉塞出来る閉塞蓋を取付けた構造であること。
- ③ 蓋は、専用開閉器具の使用により軽く開放できる構造であること。
- ④ 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。

水道資材仕様書

品名：仕切弁底版・消火栓空気弁底版・調整ブロック・止水栓底版

「材質・構造・性能」

- ① 仕切弁底版材質：FCD450-10
- ② 消火栓空気弁底版材質：FCD450-10 弓形爪形状（全周型）
- ③ 調整ブロック材質：FCD420-10
- ④ 止水栓底版材質：SUS403（強度区分：C3-80）焼付防止とする。

水道資材仕様書

品名：埋戻用砂

「材質・構造・性能」

- ① 土質材料の工学的分類体系における小分類「砂」(S)とすること
- ② 上記基準によらない場合は、監督員の確認を行うこと。

水道資材仕様書

品名：バルブロット（継足しロット）

「材質・構造・性能」

- ① 材質は SUS304 以上とする。
- ② 上記基準によらない場合は、監督員の確認を行うこと。